

(仮称)野洲市立病院建設計画について

新聞報道もなされましたが、本年 5 月 28 日の野洲市市議会で、昨年度に継続審議となっていた(仮称)野洲市立病院計画の基本設計関連予算案が否決されました。この数年来、市長および多くの委員、市民の間で検討されてきた計画が延長したことになります。各方面からもいろいろとご心配の言葉をかけていただいております、病院長に就任して 2 年間 JR 野洲駅前南口に新病院建設に向けて携わった者として、今までの経過説明を私見も含め報告したいと思います。

もともと本計画は、御上会野洲病院が平成 23 年に「新病院基本構想 2010」として、新病院の土地建物および高額医療機器の野洲市が調達して、御上会野洲病院が使用貸借できるように願い出たことが契機になっています。その主な理由は、施設建物の老朽化と耐震面の問題、医療機器の旧式化、病院の稼ぎ頭であった診療科医師の開業で診療実績が下がり、病院経営状態が悪化したことなどでした。御上会野洲病院が民間病院でありながら市にこのような提案をしてきた背景には、旧野洲町時代から地域の中核的な役割を担う公的病院に準じた病院として位置づけられてきたことによります。

この提案は野洲市によって、御上会野洲病院が自立的に経営を継続することの限界を表明したと整理されました。その後、野洲市において地域医療を担う中核的医療拠点としての役割を果たす病院が必要かどうかを判断するため、同年『野洲市地域医療における中核的医療機関のあり方検討委員会』、平成 24 年度に『野洲市新病院整備可能性検討委員会』によって種々検討され、市内に一定の医療サービスを確保することへの市民の期待が高いこと、市民の高齢化など、近い将来に備えとして市内に病院がある方が優位であること、現在と同等の負担で病院を整備し運営でき、現在の野洲病院よりも医療サービスを充実できる可能性があること、市の関与が強まることで経営に責任が持てる体制を整備できることなどを理由に、「市は中核的医療拠点として、一定の役割を担う病院を市立病院として整備すべき」との結論が出されました。

この基本方針を踏まえて、野洲市民に必要と考えられる市立病院を整備するための基本構想を検討するため、平成 25 年『(仮称)野洲市立病院整備基本構想検討委員会』が設置され、私も初めて委員として参画いたしました。本委員会では、新病院の役割として、中等度の症状で入院が必要な市内患者への対応、大学病院などの急性期で重度な医療を担う病院と自宅療養の間をつなぐ役割、在宅医療を推進する上で診療所等の後方支援の役割が提示されました。また運営形態は、市立病院の開院当初の段階では、不測の事態に対する備えと経営の安定化を優先するため、市が直接運営(全部適用)することとし、開院 5 年程度を目途に地方独立行政法人に移行するように再検討することなどが決定されました。これらは、平成 26 年 4 月の診療報酬改定で厚生労働省が示した病床の機能分化の促進、病院完結型から地域完結型医療への転換、在宅医療を含めた地域包括ケアシステムの構築、医療・介護の連携強化などに合致する内容にもなっています。

引き続き平成 26 年度には、野洲市、コンサル、御上会野洲病院の三者プロジェクトを組み、新病院の基本構想に基づいて、外来機能、入院機能、診療機能、医療技術、医療情報、病院運営管理の6部門別に具体的な基本計画を詳細に策定しました。ところが、野洲市ならびにコンサルが試算した経営収支シミュレーションでは、平成 24 年には約 57 億円であった病院施設整備費用が平成 26 年度末には約 84 億円まで膨張したため、当初開院 6 年後には黒字化との予測が、20 年後も赤字との予測が出され、基本計画上「具体化した病院像での病院事業は不成立(赤字経営)」と理不尽に断定されました。この案に対し、急遽御上会野洲病院側も参画し、予算の削減や収入改善データを積み上げて再試算を行い、開院 16 年後には黒字化するとの再予測が出されました。

このように、短期間に大幅に変わった基本計画案に対する不信感などがあって、5 月議会での否決となった次第です。新市立病院建設を反対理由は、一様ではありません。1) 新病院は必要であるが、市立病院である必要はない。2) 新市立病院建設には反対ではないが、JR 駅前である必要はない、3) 現状のままでよい、4) 周辺に多くの病院があるので、野洲市にそもそも中核的病院は必要ない、などに集約されるのではないかと考えています。

幸い、6 月 23 日の市議会で、基本計画案を再検討するための補正予算案が可決されました。今後、新病院建設の妥当性が色々な角度から再度議論されていくと思いますが、私たち御上会野洲病院職員にできることは、平素の医療・看護・介護に誠意を尽くし、地域住民に安心と満足を提供することで住民に必要とされ、心から愛される病院になること、診療実績を上げ経営状況を改善することにつきますと思います。各方面の方々には、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

なお、平成 27 年 7 月 12 日(日)午後 2 時～4 時、野洲文化小劇場にて、野洲市主催の「【緊急】市立病院を考える市民集会」が開催されます。市民の皆様のご参画を心よりお願い申し上げます。

平成 27 年 6 月 24 日
特定医療法人社団御上会 野洲病院

病院長 岡田 裕作